

詳細計画(各回または週の具体的な授業内容、目標など)

回/週	授業内容	備考
1	中島清隆・山崎憲治 【オリエンテーション「ESD×起業とは何か？」】 講義展開のオリエンテーション。この講座の目的と課題を明示する。 担当する講師の紹介、達成課題と参考資料を示す。	2020/10/7
2	山崎憲治 【地元学から ESD をとらえなおす】	2020/10/14
3	田村満 なつかしい未来創造株式会社社長 【震災後の中小企業の新たな取り組み】 「地域の企業をつぶさない、雇用を確保する」を合言葉に中小企業の新たな取り組みと可能性を現場から報告。	2020/10/21
4	新沼茂幸 ヤマニ醤油株式会社社長 【イノベーションのススメ】 イノベーションをおこす。起業の豊かさとその可能性を、自らの経験から探る。	2020/10/28
5	中村哲雄 前葛巻町長 【林業の現状と発展】 葛巻の林業 林業に明日はあるのか？ 持続可能な豊かな国土づくりに林業が果たす役割	2020/11/4
6	中村哲雄 前葛巻町長 【新しい学びを求めて】 牧場が学校になる？ 動物や自然と直接触れ合うなかから、新たな学びが展開する。	2020/11/11
7	高橋源英 前北上平和記念展示館館長 【平和について考える～農民兵士の声が聞こえる】 農民兵士とは、なぜ北上に平和記念展示館が生まれたのか。 農民兵士の「声」を聴いてみよう。	2020/11/25
8	岩淵宣輝 特定非営利活動法人太平洋戦史館会長理事 【平和について考える】 「忘るまじ、語り継ごう、国際交流」を柱とする NPO 法人太平洋戦史館活動を続ける中から、学生に訴える。	2020/12/2
9	工藤朋 株式会社わしの尾 代表取締役 【酒づくりから地域をとらえなおす】 日本酒の持つ豊かさと、地産地消の可能性。発酵がつくる食と文化。	2020/12/9
10	畠山昌彦 JF たろう岩手県・田老町漁業協同組合指導増殖部長 【田老の海をどう活かすか、その可能性を探る】 被災地漁業の本格復興に向けた取り組み。 地域の産業としての漁業の復興に問われているもの。	2020/12/16
11	八重樫眞純 農家・元北上市議会副議長 【農業と食糧、環境保全の可能性】 農民から見た岩手と日本の農業。環境保全と農業の発展。	2021/1/6

回/週	授業内容	備考
12	相模貞一 田野畑村教育長・宮古小学校元校長 【田野畑から、小さな村で進む教育改革】 震災を経て学力のありかたを考える。 宮古第一小学校での震災経験を踏まえ、田野畑村教育長として現場から地域の教育の可能性を提起。	2021/1/13
13	畠山重篤 特定非営利活動法人森は海の恋人理事長 京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授 【森は海の恋人】 「森は海の恋人」著者・漁師・京大教授。山・流域・海をトータルにとらえる。	2021/1/20
14	中島清隆・山崎憲治 【レポート作成準備とグループ・ダイアログ】 Sustainability の実現に向けた起業プラン案を作成し、複数のグループ内で意見交換を進め、レポート作成の準備を行う。	2021/1/27
その他	講師・講演内容・講義の順番など各回の内容は変更する可能性がある。変更が分かり次第、講義内で伝える。 他の受講生の学習を妨げると判断した場合、注意し、退室を促すことがある。	